



たかはま  
だからこそでできる  
すてきな  
まちづくり

色彩豊かなデザインの入った「ココロつなぐタオル」をご存じですか。身近な「タオル」を用いて、イラストの制作や袋づくりなどを行ってもらうことで障がい者の支援につながる「ココロつなぐプロジェクト」という取り組みが徐々に広まりつつあります。プロジェクトの発起人である尾関圭介さんに、活動にいたった経緯や、活動にこめた想いなどについて伺いました。

### すべては人との出逢いから…

20代半ば、いっしょに働いていたある人の生き方・考え方にココロを打たれました。このとき「人としてこのままじゃいけない。世のため・人のために何か動かなきゃー」と思い立ちました。

タオルのアイデアも、ある人と会話をするなかでひらめいたものです。このアイデアを思いついてから2年間、「ココロの中」にずっとやりたい想いを抱えながらも実現にいたらず、もどかしい日々が続いていました。

そんななか、仕事で交流のあった人たちの尾関さんの想い、ぜひ実現

させよう」という熱い言葉に背中を押され、そこからトントン拍子で話が進んでいきました。人との出逢い・つながりがなければ、私の想いは思いのままに終わっていたことでしょう。

### 「世のため・人のために何かしたい…」ただその想いだけっすよ

と熱いものがこみ上げてくると同時に、人に感謝されるってこんなにもうれしいことなんだと気づかされました。



▲ココロつなぐプロジェクト発起人 尾関圭介さん(呉竹町)

### ある女の子の言葉に

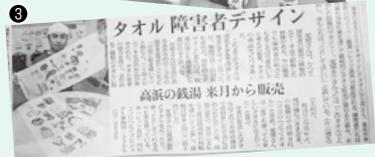
タオルのサンプルができあがったとき、ある女の子が「私の絵が入ってるー」と大喜びしてくれました。あまりにも純粹無垢なその言葉に、「やっけてよかった。絶対成功させなきゃー！」

### 今後の展望

4年後の東京パラリンピックに向けてアクションをおこしたいですね。そして、プロジェクト支部みたいな形で、全国的にこの活動を広めていけたら本望です。

### 「ココロつなぐプロジェクト」とは

このプロジェクトは、障がい者の自立を継続的に支援するための仕組みづくりを目的とした活動です。「ココロ」と「ココロ」をつなげて、みんなの笑顔を広げていきます。フェイスブックも開設中。「ココロつなぐプロジェクト」で検索してください！



- ①タオルをたたんだり、袋につめる作業は、障がいを持った人たちがひとつひとつ手作業で行う。
- ②タオルのイラストも障がいを持った人たちが描いた。どのイラストも色づかいや表情など、夢や希望にみちあふれている。
- ③この取り組みは、新聞にも紹介された。

中日新聞(平成28年4月19日付朝刊)  
※この記事・写真などは、中日新聞社の許諾を得て転載しています。



問合せ先 市総合政策グループ ☎ 52-1111 (内線 365)